

6月の大会まで 意気高く力を発揮しよう！

2月1日 第3回理事会開催さる

仲間づくり進め、草の根の運動をさらに強化しよう！



県平和委員会・第3回理事会は、2月1日（土）午後13時から、県青少年会館で開催されました。議長は風間常任理事（鹿行）でした。第2回理事会は8月25日に開催されていますから、足掛け半年ぶりの開催です。この間2回の常任理事会と、月2回の代表理事懇談会を開催し、大会決定の実現をめざしてきました。

理事会は、①秋から年末にかけての取り組みの総括と交流、②組織状況と財政の状況の確認、③情勢と、県大会までの課題等を討議し、6月の県大会までの具体的な取り組みとその手立てを確認しました。（発言の詳細は「別刷り版」）

総括・情勢討議の後、①仲間づくりと組織・財政の強化、②秘密保護法廃止、③平和地主賛同者の拡大、④核兵器廃絶と非核平和都市宣言を求める運動、⑤平和公園初午まつり、⑥東海第二原発の廃炉のとりくみ、⑦活動交流集会（3/30・日・県青少年会館）、⑧憲法フェスティバル（5/3・土）、⑨日本平和委員会定期大会への参加（千葉で開催・6/7～8）、⑩県平和委員会定期大会（6/15・日・県青少年会館）の準備（役員選任・大会規約等の確認）等を決定しました。

「百里平和公園」 初午まつりの準備すすむ！！

1月18日（土）、午前9時から、百里反対同盟の梅沢会長を先頭に、百里平和公園の草刈りと枯れ木伐採にとりくみました。13人が参加しました。

稲荷様のエリアには、枯れ草が生い茂っていました。3台の刈り払い機がうなり、切った後から片付けられ、短時間ですっきりとなりました。ついで駐車場として使われる手前の広場に移動し、以前に伐採したままで積んであった松などの枯れ枝を持ち出して、焼却しました。量は多かったけれど枯れていた上、乾燥していたのでよく燃えました。

その後に昼食となり、焚き火の上に鉄板を置き、用意された鍋付の即席うどんを各人が調理し、おにぎりと一緒に食べました。

昼食後は、「平和地主」で使う土地です。背丈ほどの草が一面に生い茂り、刈り払い機がフル稼働。切った枯れ草をまとめるのも大変です。太い松の枯れ木も7～8本あります。初めて参加した鹿島市の木村幸雄さんが、枯れ木1本1本の上部にワイヤーを掛けます。それをブルで引っ張りながら根元を切断する危険な作業。1mくらいに切断された松の幹の重いこと。皆さん、「ふうふう」言いながら3時ころに終了しました。



2月11日は、百里初午まつりへ！

各平和の会・平和委員会のみなさんは、お誘い合わせてご参加ください。

百里平和公園は、お待ちしております。

2月11日（火・祝日）

午前10時頃から模擬店が始まります。

式典は、12:00 から行います。

『東海第二原発の廃炉』 取り組みを進めよう！！

(1) 東海村村内に、大型の立て看板やのぼりを設置する。

- ・東海村平和委員会と代表理事・事務局とで、連絡を取って進める。
- ・「のぼり旗」や「ポスター」を張り出す。

(2) 各地域でも「のぼり旗」等を立てる。

- ・関係者と連絡を取り、早急に実施する。

(3) 「のぼり旗」は60本を発注しました。

- ・（美和・緒川の堀江常任理事が窓口です）



歓迎！新入会員のみなさんです。
よろしくお願ひします。

- 興野 政行 さん（笠間市）
- 細井 洋子 さん（小美玉市）
- 羽石 伸宏 さん（花だいこん）
- 岡田 栄子 さん（土浦市）
- 工藤 睦宏 さん（水戸市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2014年2月5日（水曜日）

2038号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 676
2014.2/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

初井勝人殿、あなたの即刻辞任を要求します！

初井勝人NHK会長、あなたは就任の記者会見で、以下のよう
に語りました。

戦時慰安婦問題について、「どこの国にもあった。」とした
上で、「韓国が、日本だけが強制連行したみたいなことを言っ
ているから話がややこしい。（補償については）日韓基本条約で全
部解決している」

特定秘密保護法について、「通ったので、言ってもしょうが
ないんじゃないか。必要があれば（番組を）やる。世間が心配
しているようなことが政府の目的であれば大変だが、そういうこ
ともないのでは」

領土問題について、「尖閣や竹島という領土問題は、明確に
日本の立場を主張するのは当然のことだ」と述べ、「外国人向け
国際放送で領土問題を取り上げることを最重要課題とする」

安倍首相の靖国神社参拝について、「総理の信念で行かれた。
いいの、悪いのという立場にない。（NHKの報道姿勢は）淡々
と、総理は靖国に参拝されましたというだけだ」としました。

また、「政府が『右』と言っているものを、われわれが
『左』というわけにはいかない」とも語っています。

あなたのこれらの発言は、放送法に明確に違反し、だからこそ
国内外から批判と怒りの声があがったのは当然です。放送法の第1
条、放送の目的については、「放送の不偏不党、真実及び自律を
保障することによって、放送による表現の自由を確保すること」
「放送が健全な民主主義の発達に資するようにする」と規定してい
ます。放送は政権からの独立・自立が必須です。あなたの発言
は、事実上政府の代弁者であることを自己告白し、「御用放送」
になることを宣言したものとしか考えられません。

さらにあなたが、NHKの「ボルトやナットを締め直す」と言
うのですから、NHKに公正な放送は期待できなくなるのは当然で
す。あなたは、国会証人喚問で答弁で、発言内容の撤回をしませ
んでした。

これでは、NHKは政府の政見を伝えるだけの、翼賛的な放送
局にかわり果ててしまいます。

こんなことでは、日本は自由も民主主義もない統制的な国になっ
てしまいます。

あなたの即刻の辞任を要求します。

2014年2月1日 茨城県平和委員会第3回理事会

各地の平和の会だよ

内原・友部平和の会 (水戸市/笠間市)

南信州・阿智村訪問の旅

内原・友部平和の会では、年間のとりくみの中で、夏の「戦
争と平和展」に大きな力点をおいて活動しています。また、
会の立ち上げ時から、内原の地が拠点とされ多くの命を犠牲に
した満蒙開拓青少年義勇軍の問題を学習してきました。

内原に2003年2月開館した「水戸市内原郷土史義勇軍資
料館」は、蒙開拓青少年義勇軍の養成と派遣の事業を、国策
に協力した立派なものとし、郷土の誇りとしていることが、そ
の展示内容から窺えるものです。私たちはこれを疑問視してき
ました。そして多大の犠牲者を生み出した満蒙開拓青少年義勇
軍の学習を深めながら、日本で最大の犠牲者を出した歴史に
立って「満蒙開拓平和記念館」を建設し昨年4月25日に開
館した長野県阿智村を訪ねる旅を企画し、1月23日～24日
の一泊二日の日程で行いました。

23日午後、「満蒙開拓平和記念館」を入館し、DVD視
聴・語り部の体験談・資料閲覧などを行いました。このとき
一行のために来館した岡庭阿智村長の歓迎の挨拶を受けること

24日午前、阿智村中
央公民館にて、「あち憲法
を学ぶ会」の19名の方々
が阿智村・喬木村から集
まってきて、盛大な交流
会が催うされました。



【満蒙開拓平和記念館前で】

内容の濃い阿智村方訪問
の旅でした。

かわら版へのお便り

(りゅうがさき平和の会/藤沢宏至)

「学習かわら版No.7」
ありがとうございました。



志位さんも力説する中南米の動きを象徴するような
ニカラグアのお話、たいへん啓蒙されました。これ
からもそういう世界の動向に注目していきたいと思っ
ています。どうしてオルテガは自ら武装をとき、そ
して再び選挙で大統領に選ばれたのか、くわしい
きさつも知りたいです。できましたら間宮さんにも
う一筆お願いしたいです。よろしくお願ひします。

中南米カリブ海諸国
共同体・首脳会議
(加盟国33ヶ国)

「平和地帯宣言」を採択

メキシコからアルゼンチンまで、中南米カリブ海地域のすべて
の独立国33ヶ国で、構成する地域機構「中南米カリブ海諸国
共同体」(CELAC)は、1月29日、キューバの首都ハバナで
開いた第2回首脳会議で、武力の不行使と紛争の平和的解決など
の原則を明記し、同地域を「平和地帯」と宣言する文書を採択
しました。

同文書は、「武力の行使及びその威嚇を永久に放棄することを
めざし、紛争を平和的に解決する」決意を表明。CELAC(セ
ラック)加盟国が、他国の国内問題への直接・間接の干渉を行
わず、国家の主権という原則を順守する義務を負うことや、政
治・経済・社会体制の違いにかかわらず、他の国々と友好と協
力の関係を促進する立場を明らかにしています。

核軍縮については、同日採択された首脳会議宣言で、検証可能で
透明性のある形での「核兵器の全面的な廃絶を達成する緊急の必
要性」を指摘。核兵器を禁止するための拘束ある手立ての交渉
で前進が図られるよう、呼びかけました。(川又常任理事寄稿)

ASEANによる既存の安全保障の 枠組みを発展させる構想が注目

第23回東南アジア諸国連合(ASEAN)首脳会議と一連
の関連会合が1月9日、10日に、バンダルスリブガワンで開催
され、「日本とアメリカ、中国、インドをふくむアジア太平洋
の国々が戦争放棄を確約する条約を結ぶ」という構想が取り上げ
られました。

紛争の「平和的解決」「武力不行使」を掲げるASEANの
努力は、アメリカや中国など周辺の大國を巻き込む形で進展して
います。

ASEAN・アメリカ首脳会談の議長声明は、会談が「アメ
リカとASEANのパートナーシップを戦略的レベルに引き上げ
ることを象徴するものとなった」と強調しています。

この地域内での平和と安定に大きく貢献するとされる2015年の
「ASEAN共同体」設立に向けて、アメリカが支援を約束し
たとしています。中国も東南アジアの安全保障の枠組みについて
も前向きな姿勢を示しています。